



カーテンお取扱いについて

カーテンをご使用になる前に、
カーテンを美しく保ち長くご利用いただくため本書をご一読ください。



[普段のお手入れ]

カーテンの汚れのほとんどは、空気中のホコリが付着したものです。
通常のお掃除の合間に掃除機のブラシ付きアタッチメントなどをご利用して
表面のホコリをやさしく吸い取ってください。
特にヒダ山の部分や、タッセルでまとめた部分はホコリがたまりやすいので念入りに。
タバコのヤニやキッチンの煙は、時間が経つほど落ちにくくなります。
ドレープカーテンは年に1回、レースは半年に1回程度のお洗濯をおすすめします。

[伸び縮み]

繊維の性質上、特にレーヨンや綿・麻素材を使用したカーテンは
多少伸縮することがありますのであらかじめご了承ください。
カーテンは高温多湿の環境をきらいますので、室内環境を適切な状態に
調節することが大切です。

[カーテンのニオイ]

カーテンの素材の中には麻などのように固有のニオイを発するものがありますが、
人体へ影響はありません。
気になる場合はこまめに換気をしてください。時間とともに薄れていきます。

お洗濯する前に

カーテンの裏に縫い付けてある洗濯ラベルで洗い方をご確認してください。
(下記の洗濯表示解説をご参照ください)

家庭洗濯	漂白	タンブル乾燥	自然乾燥	アイロン	クリーニング
<p>40℃限度洗濯機「標準」*</p> <p>40℃限度洗濯機「標準」*</p> <p>30℃限度洗濯機「弱」*</p> <p>40℃限度手洗い</p> <p>家庭洗濯NG</p> <p><small>*洗濯機の機種により異なる</small></p>	<p>漂白OK</p> <p>酸素系OK 塩素系NG</p> <p>漂白NG</p>	<p>高温 80℃まで</p> <p>低温 60℃まで</p> <p>タンブル乾燥NG</p>	<p>「日なた」「日陰」</p> <p>つり干し</p> <p>濡れつり干し</p> <p>平干し</p> <p>濡れ平干し</p>	<p>高温 200℃まで</p> <p>中温 150℃まで</p> <p>低温 110℃まで *スチームなし</p> <p>アイロンNG</p>	<p>全ての溶剤 ドライクリーニング 通常処理</p> <p>石油系溶剤 ドライクリーニング 弱い処理</p> <p>ウエットクリーニング 非常に弱い処理</p> <p>ドライクリーニング NG</p> <p>ウエットクリーニング NG</p>



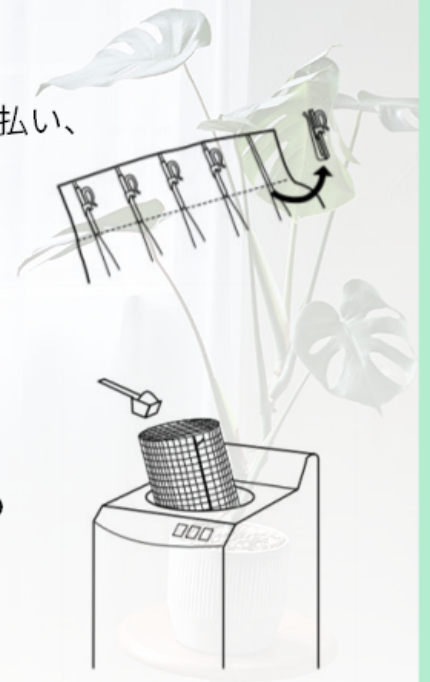
カーテンのお洗濯について

● ご家庭でお洗濯する場合

お洗濯の前に上部フックを全てはずして、ホコ리를払い、しわにならないよう屏風たたみします。

● ご家庭の洗濯機で洗う場合

一度に洗うのは1~2枚まで。色移りもしますので、他のものと一緒に洗わないでください。
洗濯ネットに入れると型くずれを軽減できます。
水量は「最大」、水流は「弱」に設定し、40℃以下のぬるま湯か水で洗ってください。
洗剤は普段お使いになっている洗濯洗剤か、デリケートな衣類用の中性洗剤をご使用ください。
すすぎの際、柔軟剤を入れると風合いが良くなります。

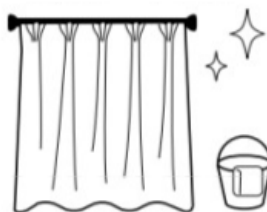


● 手洗い・つけ置き洗いする場合

40℃以下の水かぬるま湯でやさしく押し洗いしてください。
(もみ洗いはしわの原因になります)その他は洗濯機洗いと同じです。
汚れがひどいカーテンは「つけ置き洗い」をおすすめします。水温は30~40℃程度で、30分~1時間程度つけた後、洗濯機か手洗いで洗濯してください。

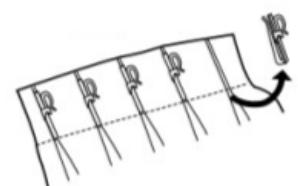
● 脱水・干し方

脱水時間が長いとしわがとれにくくなりますので、ドレープで1分、レースなら30秒程度にとどめてください。
窓まわりの拭き掃除を済ませておくと、洗ったばかりのカーテンに汚れが付くのを防げます。
元々掛けてあったレールに戻して吊り、軽くしわを伸ばすようにして形をととのえ、自然乾燥させてください。
屋外に干す場合は日陰で乾かしてください。
乾燥機は使用しないでください。



● クリーニングに出す場合

クリーニング店に出す前には、上部のフックをはずし、更に洗濯ラベルの表記に添った洗い方で依頼してください。



形状記憶・形態安定加工カーテンについて

● たたみじわについて

包装の都合上、折りたたんだ部分に折りじわが残っていることがあります。
その場合は、しわの部分にアイロンを「低温」でおかけください。



アイロンをかけすぎると
プリーツが消失する恐れがあります。

● 加工跡について

生地特性（織り方や表面の風合い）により、若干の加工跡が気になるものがありますが、カーテンの品質を損なうものではありません。



形状記憶・形態安定加工カーテンを ご家庭でお洗濯する場合

洗濯ネットの使用をおすすめします。

洗濯は40℃以下のぬるま湯をたっぷり入れて（水位を高くして）
弱水流で洗ってください。

脱水は「ドレープ30秒」「レース15秒」を目安にしてください。

脱水後は元のレールにつるして乾かしてください。

ドラム式乾燥機の使用はプリーツを消失させる恐れがありますのでお避け下さい。

アイロンはほとんど必要ありませんが、もしご使用の際は、
ごく低温（110度以下）にてかけ、一定箇所に長くかけないでください。
（プリーツを消失させる恐れがあります）

● 形状記憶・形態安定の耐久性について

形状記憶の維持は、表記の洗濯方法で10回程度、形態安定の維持は、
表記の洗濯方法で1～3回程度、とお考え下さい。

● 洗濯表示について

形状記憶・形態安定加工を施しますと洗濯等の取り扱いが下表のように変わり、
適応する取扱表示が添付されます。
洗濯機、手洗い可・不可表示については変更ありません。

形状記憶・形態安定加工前		形状記憶・形態安定加工後
	➡	
又は	➡	
	➡	



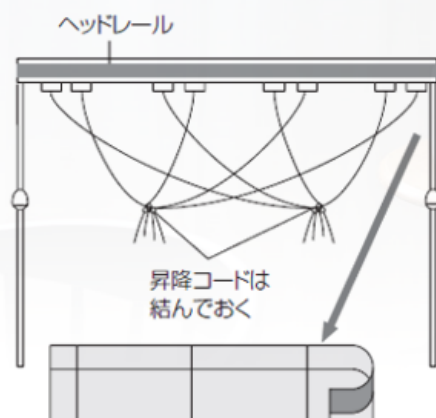
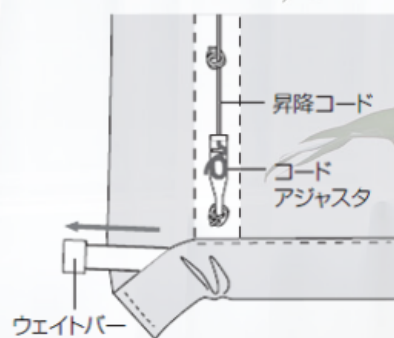
シェードのお洗濯について

● ダブルシェードの場合

- 1.幕体を下まで降ろします。
- 2.ウェイトバーを外します。
- 3.昇降コードをほどいて外します。

4.生地のお取外し

- 1.ヘッドレールから生地をはがしてください。
 - 2.コード類はヘッドレールから抜けないよう束ねて結んでおいてください。
- クリーニング後は逆の順序で取付けてください。

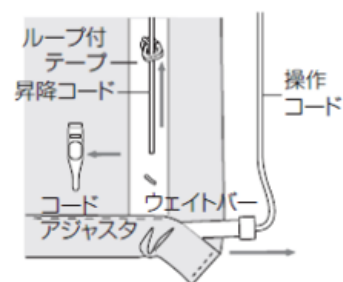


● シングルシェードの場合

- 1.幕体を下まで降ろします。
- 2.昇降コード・ウェイトバー・ウェイトの取外し

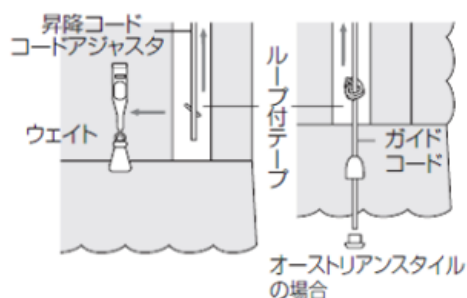
●プレーン、シャープ、フォールドスタイルの場合

- 1.ウェイトバーを取出します。
- 2.最下部のコードアジャスタから昇降コードをほどき、ループ付テープから抜きます。



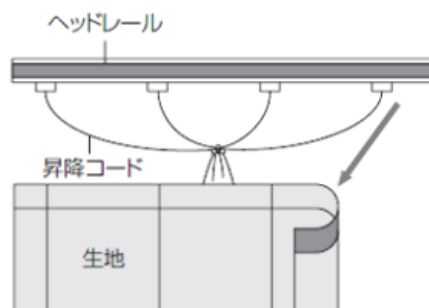
●バルーン、オーストリアン、ルース、ムーススタイルの場合

- 1.最下部のコードアジャスタから昇降コードをほどき、ループ付テープから取外します。
- ※オーストリアンの場合はガイドコードの結び目もほどいてください。



3.生地のお取外し

- 1.ヘッドレールから生地をはがしてください。
 - 2.コード類はヘッドレールから抜けないよう束ねて結んでおいてください。
- クリーニング後は逆の順序で取付けてください。



注意



火災の原因となるおそれや、生地の変質や劣化を促進させるおそれがあります。火気には絶対に近づけないでください。

また、照明器具などの高温となる器具や光を集める鏡などの配置にご注意ください。「防災カーテン」は燃えないカーテンという意味ではありません。



カーテンにはぶら下がらないでください。生地が破れたり、フックが破損するだけでなく、カーテンレールが落下する恐れがあり、とても危険です。

タッセル(カーテン留めひも)の注意喚起表示方法について

警告

タッセル(カーテンの留めひも)が体にまきついたり、引っかかるようなことをしないでください。事故の恐れがあります。小さなお子様のいらっしゃる場合には特にご注意ください。



一般社団法人 日本インテリアファブリックス協会